

ご近所の お医者さん

□
703
□

大平耳鼻咽喉科院長 **大平真司さん** 一東大阪市

ネット・ゲーム依存

大阪府医師会は毎年、健康に関する身近な話題をテーマに「大阪の医療と福祉を考える公開討論会」を開催しています。医療や福祉の専門家の講演や市民の代表を交えた意見交換を通して、皆さんが日々感じている悩みや疑問を軽減し、新たな知識を得るきっかけに

なれば大変うれしく思います。

45回目を迎えた今回は、「楽しみと危険の境界線——ゲーム依存やキャンセル依存から抜け出すために」と題し、低年齢化するインターネットやゲーム

親子でルールづくり

依存にスポットをあてて討論会を実施しました。

前半は、日本のゲーム依存治療の第一人者である久里浜医療センター名誉院長・顧問の樋口進先生と、小児科医・学校医の立場から森口久子・府医師

会理事が講演しました。樋口先生には臨床データを基に、ネット・ゲーム依存のメカニズムのほか、過剰使用と依存症の違いや予防策・治療法などを解説していただきました。森口理事は、

幼少期からネット環境に関わることに
よる視力▽聴力▽姿勢▽生活習慣——
などへの影響、学校教育のICT化に
おける注意点などをお話されました。

後半の意見交換では、小学生のお子さん
を育てているタレントの浅尾美和

さんに入っていたいただき、ご自身のお子さん
とデジタルツールをどのように関わらせていくか
について理解を深めていただきました。今後、お
子さんにスマートフォンを持
たせる時は一緒に話し合
い、自身もお手本にな
れるよう気を付けたい
とおっしゃっていました。
私もコメントターとして
登壇しましたが、ゲー
ム依存症は病気であり、
依存に至った患者さん
の意思の是非を問うの
ではなく、患者さん自身
がしっかりと病気に向
き合い、適切な治療に
つながられるような働
きかけをしていくこと
の大切さを改めて感じ
ました。

討論会は、22日の本紙の特集記事で
掲載されるほか、11日
午後1時半から動画投
稿サイト「ユーチューブ」
二次元コード参照で視
聴できますので、ぜひ
ご覧ください。



コード参照で視聴
できますので、ぜひ
ご覧ください。

